

デジタル時代の著作権協議会（CCD）

平成17年度 著作権ビジネス研究会 事業計画

平成14年度から実施している、デジタル化、ネットワーク化時代にふさわしい著作権および著作隣接権の契約や流通のあり方についての検討を継続して行う。

コンテンツ流通の促進のための環境整備を目的として、昨年度とりまとめた報告書「コンテンツ流通の促進に必要な権利情報の共有に向けた環境整備のあり方」のなかでは、権利情報の共有化に向けた権利者 ID のあり方などを提案したが、今年度はコンテンツ ID について CCD ID モデルとして具体的なシミュレーションモデルを検討・紹介する。

また、共有化された情報の公開にあたり、その運営主体・方法についての検討を行う。

このほか、各団体の取組支援として、昨年度ケーススタディとして検討した各団体の進捗状況や、その他団体の取組みも取り上げ、意見交換を行う予定である。

【主な検討課題】

- ・ 権利情報の公開・共有化の研究
- ・ コンテンツ ID に関する CCD ID モデルの検討
- ・ 各団体での取組促進
- ・ 権利情報公開の窓口構築・運用の検討

など。

以上